



美しい大地の声が聞こえる。

# ASEAN FILM WEEK

この大地には、  
素朴に、たんたんと  
映画へのひたむきな情熱を  
語る人々がいる。  
アセアンの国々。

R. A. Kartini



Kejarlah Daku Kau Kutangkap

Ranjau Sepanjang Jalan

Puteri

Himala

Baby Tsina

Reincarnation

Phree Kao

Namphu



## カルティニ

インドネシア・シユマン・ジャヤ監督作品

## 追いつ追われつ

インドネシア・ハエリル・ウマム監督作品

## いばらのあぜ道

マレーシア・ジャミル・スロン監督作品 \*'83マレーシア映画祭グランプリ

## トリの恋人

マレーシア・ラヒム・ラザリ監督作品 \*'87マレーシア映画祭グランプリ

## 奇跡の女

フィリピン・イシマエ・レベナル監督作品

## ベビー・チナ

フィリピン・マリレ・ディアス・アバヤ監督作品

## 生まれ変わり

シンガポール・SBC-TV制作 \*この作品のみビデオ・ワイド・プロジェクトによる上映となります。

## 傷あと

タイ・チャート・ソンスー監督作品

## ナンブーは死んだ

タイ・コッターナー・ムクダーサニット監督作品

# アセアン映画週間

主催 アセアン映画週間実行委員会・(財)東京国際映像文化振興会◆後援 外務省・国際交流基金・日本放送協会

12/3金

銀座テアトル西友

銀座線京橋駅下車(旧テアトル東京跡) 03(535)6000

入場券・前売600円、当日800円

チケットぴあ、チケットセゾン、テアトル西友、都内各プレイガイド他にて発売中

お問い合わせ・アセアン映画週間実行委員会 TEL 03(535)7433

# アセアン諸国に映画の花盛りを訪ねて

佐藤忠男

いま、アジアの映画が面白い。だんぜん面白い。インド、中国、韓国、香港、台湾など映画についてはもう、日本でも本当の映画が、まだ面白い映画を作っているのにその真価がよくは知られていない。アジアの国々がある。アセアン諸国がそれだ。

アセアン映画週間実行委員会の委嘱で、今回上映される作品を選ぶために私は今年の五月にアセアン諸国を訪ねた。そして各国の政府機関、映画界、日本大使館、国際交流基金の出張所などの全面的な協力を得て、各國でそれぞれ多数の重要な作品を試写していただけて、その中から厳選した。じつに多数の良い映画があり、選ぶ本数に限りがあるのが辛かったほどである。この承知のように、いまアセアン諸国は力強い国づくりを進めて発展しつつある。民族意識も高まっている。それが映画にも反映しているのだ。タイ映画の「傷あと」とフィリピン映画の「奇跡の女」は私が以前にそれらの国々を訪ねたときに見て感動し、以来、なんとか日本に紹介する機会は得られないものかと考えていたものであり、こんどそれが実現して嬉しい。マレーシア映画の「いばらのあぜ道」は、かつて今村昌平監督が「女銜」の撮影でマレーシアに行つたときに見て感動し、現地の新聞でその素晴

らしさを賞賛していた作品であった。私はその記事を読んでいたので今村監督から連絡先を教えていただき、大使館を通じてファイルムを借りて見たのだった。期待して見て期待にたがわぬ傑作であったときは嬉しいものである。「カルティニ」のショーマン・ジャヤ監督は一年惜しまれで亡くなつた。私はこの人の作品をこれまでに六本見ているが、いざそれも見応えのあるもので、インドネシア映画史上、おそらくは最大の巨匠ではないかと思つたのである。ごらんになればお分りいただける筈であるが、じつに優美なスタイルを持った女性映画であり、インドネシアの国民映画である。追悼の意をこめて上映したい。タイ映画「ナンブーは死んだ」やフィリピン映画「ベビー・チナ」を見ると、アセアン諸国映画界にも確実にヌーベルバーグがわきおこりつあることを感じとることができる。軽快さも捨て難い。

シンガポールとブルネイでは映画は作られていない。しかしシンガポールのばいはテレビの発展は目ざましいものがあるので、テレビドラマを一本、ビデオで特別に参加していただくことにした。これらの国々でも映画が作られる日を私はたのみにしている。

12/3 土 9 金 アセアン映画週間 ASEAN FILM WEEK

主催/アセアン映画週間実行委員会・(財)東京国際映像文化振興会・後援/外務省・国際交流基金・日本放送協会

## 上映スケジュール

	12/3[土]	12/4[日]	12/5[月]	12/6[火]	12/7[水]	12/8[木]	12/9[金]
1:30 ↓ 3:30 (休憩) (45分)	「いばらのあぜ道」 (1h37) ※舞台挨拶 ジャミル・スロン(監督) カマルル・アリフィン(製作)	「ブトリの恋人」 (1h43) ※舞台挨拶 ラヒム・ラザリ(監督)				「追いつ追われつ」 (1h51)	「傷あと」 (2h10)
4:15 ↓ 6:15 (休憩) (45分)	「ベビー・チナ」 (2h11) ※舞台挨拶 マリル・ディアス・アバヤ(監督) ヴィルマ・サンツ(主演女優)	「追いつ追われつ」 (1h51) ※舞台挨拶 ハエルル・ウマム(監督)	「奇跡の女」 (2h00) ※舞台挨拶 イシュマエル・ベルナール(監督)	「いばらのあぜ道」 (1h37) ※舞台挨拶 イニー・ワン・ロン・ホン(監督) リー・ウェン・ハイ(主演男優)	「生まれ変わり」 (2h00) ※舞台挨拶 ウイニー・ワン・ロン・ホン(監督) リー・ウェン・ハイ(主演男優)	「ブトリの恋人」 (1h43)	「ナンブーは死んだ」 (2h09)
7:00 ↓	「ベビー・チナ」 (2h11) ※舞台挨拶 チャート・ソンスイー(監督)	「傷あと」 (2h10) ※舞台挨拶 チャート・ソンスイー(監督)	「カルティニ」 (2h51) ※舞台挨拶 ナニ・ウジャヤ(女優)	「ナンブーは死んだ」 (2h09) ※舞台挨拶 ユッタナー・ムクダーサニット(監督) パトラワードー・ストライラット・ブライ(女優)	「生まれ変わり」 (2h00) ※舞台挨拶 ユッタナー・ムクダーサニット(監督) パトラワードー・ストライラット・ブライ(女優)	「奇跡の女」 (2h00)	「カルティニ」 (2h51)

※舞台挨拶のゲストは変更になる場合もあります。

銀座テアトル西友

GINZA THEATRE SEIYU

入場券・前売600円、当日800円

チケットぴあ/チケットセゾン/テアトル西友/都内各ブレイガイド他にて発売中

お問い合わせ・アセアン映画週間実行委員会 TEL 03(535)7433

